２０２２年１１月３０日

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
株式会社阪急阪神百貨店

エイチ・ツー・オー リテイリングと阪急阪神百貨店 共創を促す働き方を目指した新オフィスが本格稼働

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社と同社グループの中核会社である株式会社阪急阪神百貨店（大阪市北区）は、２０２２年９月の大阪梅田ツインタワーズ・サウスへの本社移転を機に、共創を促す働き方を目指したオフィス運営が始動しましたのでお知らせします。

新しい働き方の実現による価値創造、従来型ワークスタイルの変革による効率化・コスト削減、環境負荷の低減がねらいです。

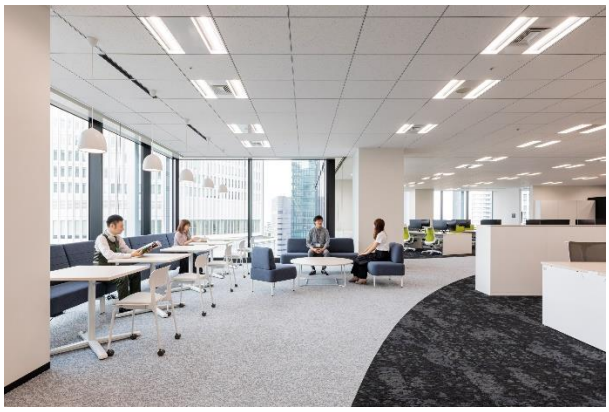
■ ＡＢＷによる自律的で柔軟な働き方と円滑なコミュニケーション

新オフィスでは、ＡＢＷ (※) による自律的で柔軟な働き方への変革を目指し、個人ごとの固定デスクは設けず、コミュニケーション起点の完全フリーアドレスを基本とします。

(※) ABW＝Activity Based Working 仕事の内容に応じて最適な環境を自ら選択するワークスタイル

大画面モニター席や窓に面した執務席、グループでの執務や打ち合わせができる席、スタンディングテーブル、集中ソロワークスペース、Ｗｅｂ会議ボックスなど様々な機能を配置しＡＢＷの実現をサポートします。

フリーアドレスによる景色や周囲のメンバーの変化は、業務効率を高め部門を越えたコミュニケーションを活性化させます。さらに、曲線を取り入れた回遊性の高い動線と変化のある什器配置は偶発的なコミュニケーションを生み、新たな気づきや速やかな問題解決を促します。





■ ペーパーレスの徹底や重複の排除による効率化

会議や打ち合わせのスペースにはモニターを完備、複合機やキャビネットは最小限の台数とし、重要書類廃棄ボックスを設置してペーパーレス化を徹底します。シュレッダーにかける手間をなくし紙資源としてのリサイクルにより環境負荷の低減にも貢献します。

オフィスの設備や備品、事務用品・消耗品まですべてをフロア共用とすることで部門ごとの重複を

排除し面積効率を高めます。部門や個人固有のものは収納し、従業員各自による使用後の片付けや清掃を徹底します。新設の「オフィスコンシェルジュ」は、新しい働き方に即した運用ルールの徹底、健全なオフィス環境の維持、改善を担い、オフィスにおける様々な困りごとに対応します。

また、株式会社コンカーが提供するクラウド経費精算サービス「SAP Concur」の導入による業務のデジタル化や、電子決裁・契約の活用で出社・在席を強いる業務を削減し、クラウドＰＢＸを導入して固定電話を廃止することで場所にとらわれない働き方を推進します。

新オフィスは在籍者約６００人に対して執務席約３００席、設備や備品の集約により１フロアで面積効率が向上したことで、２社で使用している梅田地区のオフィス面積を３割縮小し、運営コストとエネルギー消費を削減します。

■　ＩＴを活用したスマートな業務環境

ノートＰＣやスマートフォンを徹底的に活用するための高速無線ネットワークや充電機能を整備し、株式会社ビットキーが提供するオール・イン・ワンプラットフォーム「workhub」を新たに導入して、顔認証による入室、二次元バーコードを用いた無人受付、会議室の予約、座席へのチェックインと位置情報のマッピングなどスマートな業務環境を構築します。ロボット掃除機やカフェのキャッシュレス決済なども実験的に導入していきます。

■　新たな価値を生み出すコラボレーションスペース

従業員どうしの活発なコミュニケーションにより新たな価値を生み出すコラボレーションスペースを象徴的に設けます。カフェカウンターの設置やライブラリー機能の導入に加え、大型の９面モニターなどを用いて部門や会社を越えたイベントを多岐に渡って開催し、人が集まり共創を促す空間づくりを目指します。

社員が体験学習から一連の工程に関わって作り上げ、使うほどに馴染む大阪・泉州の森の間伐材を用いたテーブルは、「大阪 森の循環促進プロジェクト」に取り組む当社への帰属意識を高めます。





■　開放的であたたかみのあるオフィス空間

最新オフィスビルの大きな窓から自然光と景観を取り入れ、木目やガラスを基調にグリーンをあしらったあたたかみのある空間でゲストをお迎えします。ワークエリアは視界を遮るものを置かず整理整頓を意識し、開放的かつ清々しいオフィスで従業員の働く意欲を高めます。





これらの取り組みを通じて、当社グループが目指すビジネスモデル「コミュニケーションリテイラー」を実現するための自律型人材を育て、新たな価値創造と生産性向上を同時に進めていきます。

＜この件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　広報部　TEL 06-6367-3181